

# 心に残る文化財子ども塾 大田市立第二中学校

## 1 活動の概要

9月26日（木）、大田市立第二中学校のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

埋蔵文化財調査センターでは、朝山大田道路建設に先立ち、平成22年度から大田二中校区内の工事予定地内で発掘調査を進めています。この調査によって、縄文時代から中世の多くの遺跡の内容が判りつつあります。今回の子ども塾では、学年ごとに、発掘調査で明らかになった大田二中校区の古代の様子を、各遺跡から実際に出土した遺物を紹介しながら説明しました。そして、実際に出土した遺物を間近に見たり、触れたりしました。

生徒のみなさんは、自分たちの住んでいる身近なところにたくさんの遺跡があることを知り、びっくりしていました。また、本物の出土品を間近に見て観察し、縄文土器なのに縄の跡がないことを確かめたり、出土品に触れて石がひんやりと冷たかった感触を確かめたりしていました。

特に、説明の中にあつた「土馬」に興味をもった生徒さんが多く、「土馬」が思ったより小さく可愛らしく感じたり、「土馬」の足はどこに行ったのだろうと疑問に思ったりしてくれました。

今回の学習を通して、縄文時代や弥生時代は遠く離れた有名な遺跡のことではなく、自分たちの身近な地域にも存在していることを知り、郷土の歴史に興味や関心をもってくれたようです。

## 2 活動の様子

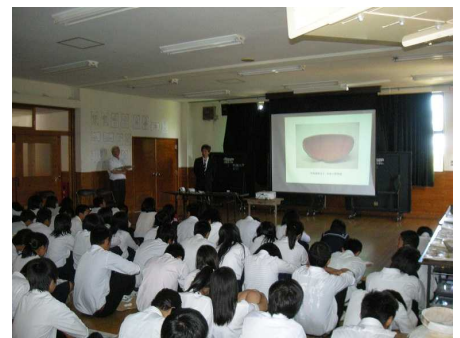
### 二中校区の遺跡について学ぶ



発掘調査とは…。



昔は、波根湖がありました。



内側が赤く塗られている土器。

### 出土品に触れる



何に使われていたのかなあ？



おもしろい形の土器だなあ…



文様もついているなあ…